

環境だより

「山、川、海、人が共生する元気なまち 津」をめざして

平成25年 7月 1日発行

平成25年 第3号

環境政策課

☎ 229-3139 FAX 229-3354

七夕の夜

にライトダウンを!
~クールアースデー~

毎年7月7日は「クールアースデー」です。この日は地球温暖化について家庭や職場で考え、行動する日とされています。

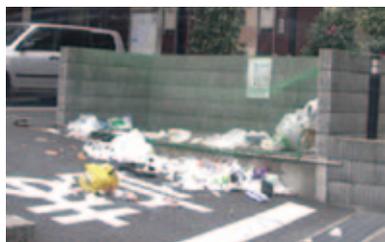
皆さんも、7月7日の七夕は家の電気を消して、地球環境について家族で話し合う機会にしましょう。



防ごう!

ごみ一時集積所のカラス被害 ← ← ← ← ← ← ← ←

ごみ一時集積所に出された生ごみをカラスがつついて散らかし、集積所付近の皆さんに大変迷惑が掛かっています。



カラスに荒らされた一時集積所

カラスは肉や揚げ物などの生ごみのほか、マヨネーズ容器やポテトチップスの袋に付着している脂分を狙い、視覚でエサを探します。袋を破いたり、引っ張ったりするのが得意で、中にはごみネットの隙間から集積所の中に入っていく学習能力の高いものもいます。カラス被害を防ぐには、ごみの出し方の工夫が効果的です。



すように工夫しましょう。また、生ごみ処理機やコンポスト容器を使って、生ごみを減量・リサイクルしましょう。



ごみ袋を使い、出す時間を守る!

ごみ袋の口をしっかり縛り、中身が出ないようにしましょう。ごみ集積所に長時間置いておくと、野良猫などが荒らし、その後にカラスが荒らすこともありますので、ごみ出しの時間は必ず守りましょう。



防鳥ネットを使用する!

黄色の防鳥ネットが効果的です。防鳥ネットを使用するときは、ごみ袋をネット内にきっちりと納め、はみ出さないよう注意しましょう。ネットが飛ぶなどして、通行の邪魔にならないように管理してください。



ごみの周りを覆う!

集合住宅やアパート、自治会で専用の集積庫があるところは、集積庫をご利用ください。集積庫がない場合は、ごみの周りを板などで覆うか、袋の内側を不要な紙で巻くなど、目隠しをすることでつつかれにくくなります。



※ダンボールや紙袋は、リサイクル資源ですので、ごみ袋の代わりに使用しないでください。



生ごみを減らす!

生ごみは、カラスにとって食料になります。生ごみが少ない、または見えないごみ集積所には、カラスは寄って来ません。食材はできるだけ使い切り、食べ残しをなくして生ごみを減ら